大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部	医学部	学科	医学科

最終更新日	令和 3 年（2021 年）12 月 17 日

ディプロマ・ポリシー		
1	専門的知識・技能の活用	疾病に関する基礎的・臨床的知識を身につけ、疾病予防や診断、治療方法の改善、原因や病態の解明・向上に貢献できる。
2	コミュニケーション能力	コミュニケーション能力と協調性並びに指導力を備え、チーム医療の実践ができる。
3	創造的問題解決力	科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実証する方法論を身につけている。
4	社会的責務と倫理	幅広い教養と高い倫理観・責任感を備え、個人の生命や健康、権利、尊厳を守り全人的医療が行える。
5	地域発展・人類福祉への貢献	広い視野から医療や保健・福祉の問題を理解し、地域社会はもとより国際的にも活躍、貢献できる。
6	生涯学習力	問題発見・解決型の効果的な自学自習の習慣を実践でき、最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備える。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP						評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	客観試験 (国家試験)	医師国家試験	2 月 （結果 3 月）	毎年	卒業予定者	合格率	●		●	●	●	●	教務委員会 医学教育センター	厚生労働省	合格率により医学科カリキュラムの総括的なアセスメント指標とする。評価分析結果を次の 6 年生の指導に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
2	実施中	客観試験	医科共用試験	9～10 月 （追試 10～11 月） 7 月	毎年	4 年生（CBT、臨床実習前 OSCE） 6 年生(臨床実習後 OSCE)	CBT と OSCE の領域別得点の学年平均および共用試験の合格率	●	●	●	●	●	●	教務委員会 医学教育センター	医療系大学間共用試験実施評価機構	領域別の得点の平均を全国レベルと比較し、医学科カリキュラムにおける領域ごとのアセスメント指標とする。	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	民間試験	日本医学英語検定試験	6 月	毎年	2 年生	合格率					●	●	医学英語教育学	日本医学英語教育学会	合格率を語学カリキュラムのアセスメント指標とする。評価分析結果を次の 1 年生の指導に資する。	●	●	●	●	●	●		
4	実施中	成績判定資料	留年／仮進級の学生数と理由の分析	3 月	毎年	全学年	留年／仮進級の学生数と理由	●	●	●	●	●	●	教務委員会	教務委員会 医学教育センター	留年／仮進級の学生は教務委員長と医学教育センター教員、メンターが面談し、留年を繰り返さないように指導する。			●	●	●	●		
5	実施中	質問紙	学生病棟実習（クリニカルクラークシップ）、医学教育に関するアンケート調査	11 月	毎年	6 年生	クリニカルクラークシップ評価・達成度、カリキュラム・教育システム評価、臨床研修病院の選択理由	●	●	●	●	●	●	学生	教務委員会 医学教育センター	医学教育センターが結果を教務委員会および全講座と教育医長に報告する。結果を翌年度以降のカリキュラム編成および学生指導体制の改善に利用する。	●	●	●	●	●	●	●	●
6	実施中	成績分布表	成績分布状況のチェック	9～11 月	毎年	全学年	偏りの大きな科目のインタビュー調査	●	●	●	●	●	●	教務委員会 医学教育センター	教学マネジメント室	成績評価の偏りを確認し、厳密な評価が実施されているかどうかの確認やカリキュラム改善に資する。			●	●	●	●		
7	実施中	質問紙	学生による授業評価「授業改善のためのアンケート調査」	1 年中	毎年	1～4 年生	学生の自己評価、講義内容に対する評価、教員の教授法に対する評価	●		●	●		●	学生	内部質保証委員会	教学マネジメント室がまとめた結果を教務委員会に報告し、次年度以降のカリキュラム編成に資する。		●	●	●	●	●		
8	検討中	学修ポートフォリオ	学修ｅポートフォリオ	1 年中	毎年	2、4、6 年生	卒前医学教育アウトカムに対する自己評価	●	●	●	●	●	●	学生	教務委員会 医学教育センター	学生の自己評価と省察を次年度以降のカリキュラム編成に資する。	●	●	●	●	●	●	●	●
9	実施中	評価チェックリスト、総合評価、表彰	研究室配属発表会	7 月	毎年	4 年生	研究室配属の実習評価・発表会の評価	●		●	●	●	●	研究指導教員	基礎医学部会	学務課が結果を取りまとめ、教務委員会に報告し、次年度以降のカリキュラム編成に資する。研究室配属発表会の高評価者を表彰する。				●	●	●		●
10	実施中	評価チェックリスト、総合評価	実習自己評価表	該当月	毎年	1 年生（早期体験実習） 3 年生（診療所実習） 6 年生(クリニカルクラークシップ学外実習)	自己評価	●	●	●	●	●	●	学生	地域医療学センター 医学教育センター	地域医療学センター・学務課が結果を取りまとめ、教務委員会に報告し、次年度以降のカリキュラム編成に資する。				●	●			●

11	実施中	評価チェックリスト、総合評価	指導医による学生の評価	該当月	毎年	1 年生（早期体験実習） 3 年生（診療所実習） 6 年生（クリニカルクラークシップ学外実習）	出席評価、学生の態度・知識・技能に対する評価、自由意見、総合評価	●	●	●	●	●	●	研修医療施設の指導責任者・担当者	地域医療学センター 医学教育センター	地域医療学センター・学務課が結果を取りまとめ、教務委員会に報告し、次年度以降のカリキュラム編成に資する。			●	●	●	●		●
12	実施中	評価チェックリスト、全体評価	学生による実習の評価	1 年中	毎年	4,5,6 年生	クリニカルクラークシップ実習プログラム・内容・指導医に対する評価、実習態度に対する自己評価、行動目標に対する自己評価、全体評価	●	●	●	●	●	●	学生	教務委員会	学務課が結果を取りまとめ、結果を教務委員会に報告し、次年度以降の実習カリキュラム編成に資する。			●	●	●	●	●	●
13	実施中	評価チェックリスト、総合評価	指導医による学生の評価	1 年中	毎年	4,5,6 年生	クリニカルクラークシップ実習態度の評価	●	●	●	●	●	●	全診療科の指導医	教務委員会	学務課が結果を取りまとめ、結果を教務委員会に報告し、次年度以降の実習カリキュラム編成に資する。				●	●	●	●	●
14	実施中	学修ポートフォリオ	診療参加型臨床実習の記録―ポートフォリオ	1 年中	毎年	4,5,6 年生	クリニカルクラークシップ実習内容、実習態度・技能に対する自己評価と指導医の評価	●	●	●	●	●	●	学生 全診療科の指導医	教務委員会 医学教育センター	医学教育センターが結果を取りまとめ、結果を教務委員会に報告し、次年度以降の実習カリキュラム編成に資する。		●	●	●	●	●	●	●

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部	医学部	学科	看護学科

最終更新日	令和 3 年（2021 年）12 月 16 日

ディプロマ・ポリシー		
1	専門的知識と技術の活用	看護学と関連諸科学の知識を基盤に人間を統合体（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな存在）として理解し，看護実践を創造的に展開できる。また，看護技術を深化させることができる。
2	コミュニケーション能力	看護の対象となる人々に対して，個々の権利と多様な価値観を認め，それを基盤とした援助的人間関係を発展させることができる。また，自分自身の意見を文章・口頭で論理的に表現し，保健医療福祉チームや地域の人々と積極性と協調性をもって連携・協働することができる。
3	創造的問題解決力	看護専門職として科学的思考法を用いて看護上の問題を明確化し，創造的問題解決策の提案，実践を行い，結果を検証することができる。
4	社会的責務と倫理	看護専門職に必要な社会的責務を自覚し，一人ひとりの生命や尊厳と向き合い，対象にとってよりよい看護を考え実践することができる。
5	地域発展･人類福祉への貢献	社会の動向や国内外の各地で生じている健康課題に関心を持ち，解決のための方策を考えることができる。また，専門職や地域の人々と共に解決策を考え実践することができる。
6	生涯学習力	主体的・自律的な学び方を身につけ，学際的な知的関心を持って看護の本質を探究し続けることができる。
7	豊かな看護観	看護の対象となる人々に関心を寄せ，寄り添い，人間的な関係を築くことのできる豊かな感性を身につけ，看護学の学修を通して，自己の看護観を育むことができる。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP							評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	国家試験	保健師国家試験	2 月 (結果 3 月)	毎年	卒業予定者	合格率	●		●				●	・医学部教務委員会	・厚生労働省	合格率を看護学科カリキュラムの総括的なアセスメント指標とする。評価分析結果を次年度以降の教育・指導に活かす。	●	●	●	●	●	●	●	●
2	実施中	国家試験	看護師国家試験	2 月 (結果 3 月)	毎年	卒業予定者	合格率	●		●				●	・医学部教務委員会	・厚生労働省	合格率を看護学科カリキュラムの総括的なアセスメント指標とする。評価分析結果を次年度以降の教育・指導に活かす。	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	成績判定資料	臨地実習履修資格判定	9 月	毎年	3 年次前学期終了時	3 年前学期終了時までのすべての要修得科目の単位修得状況	●	●	●				●	・医学部教務委員会 ・医学部教授会構成員	・医学部教務委員会	3 年後学期から始まる看護学実習の教育・指導に活かす。	●	●	●	●	●	●		●
4	実施中	成績判定資料	年間学年別単位取得報告	4 月	毎年	1～3 年次生	各年度で開講した科目の単位取得状況	●	●	●				●	・医学部教務委員会 ・医学部教授会構成員	・医学部教務委員会	学年別単位取得状況を一覧にまとめ、医学部教務委員会・教授会でカリキュラム評価、個別学生指導の情報とする。	●	●	●	●	●	●		●
5	実施中	研究論文	看護研究要旨集	11 月 要旨提出	毎年	4 年次生	看護研究要旨の内容	●	●	●	●	●	●	●	・研究指導教員	・研究指導教員	学生が取り組んだ看護研究の内容を概観し、学生の研究的視点の形成や探究力をとらえる。	●	●	●	●	●			●
6	実施中	研究発表会	看護研究発表会	11 月	毎年	4 年次生	看護研究の発表の内容や態度､発表会の運営	●	●	●	●	●	●	●	・研究指導教員 ・看護学科科目運営部会看護研究班	・研究指導教員 ・看護学科科目運営部会看護研究班	学生の研究への取り組み状況を把握し、研究指導の効果や課題を明らかにする。	●	●	●	●	●			●
7	実施中	学生調査	看護学ローテーション実習学生評価	7 月～ 8 月	毎年	4 年次生	ローテーション臨地実習の学修状況、学修環境・指導の評価	●	●	●	●	●	●	●	・学生	・看護学科実習部会	学生による看護学実習の学修成果や実習教育に対する評価を教員間で共有し、次年度の実習指導に活かす。	●	●	●	●	●			●
8	実施中	学生調査	看護学総合実習学生評価	9 月	毎年	看護学総合実習履修 4 年次生	看護学総合実習の目標到達度の評価、学修環境・指導の評価	●	●	●	●	●	●	●	・学生	・看護学科科目運営部会看護学総合実習班	学生による看護学総合実習の学修成果や実習教育に対する評価を教員間で共有し、次年度の実習指導に活かす。	●	●	●	●	●			●
9	実施中	学生調査	看護研究学生評価	11 月～ 12 月	毎年	看護研究に取り組んだ 4 年次生	看護研究の学修到達度､指導の評価	●	●	●	●	●	●	●	・学生	・看護学科科目運営部会看護研究班	学生による看護研究の学修成果や指導に対する評価を教員間で共有し、次年度の研究指導に活かす。	●	●	●	●	●			●

10	実施中	質問紙	学生による授業評価「授業改善のためのアンケート調査」	各学期末	毎年	全学年	授業参加態度、授業内容・方法に対する評価	●	●	●					・学生	・内部質保証委員会	全学部で実施した調査結果を受け、看護学科の教育成果の特徴を把握し、次年度以降のカリキュラム編成や授業設計に活かす。	●	●	●	●	●			●
11	実施中	質問紙	卒業時調査「教育・学修成果の検証に関するアンケート」	11 月以降	毎年	卒業予定者	学士力の修得状況、カリキュラム構成や教育全般に関する評価	●	●	●					・学生	・内部質保証委員会	全学部で実施した調査結果を受け、看護学科の教育成果の特徴を把握し、カリキュラム全体の評価に活かす。	●	●	●	●	●	●		●
12	実施中	学生調査	卒業時学生による教育評価調査	2 月	毎年	4 年次卒業予定者	教養教育・専門基礎・専門科目の意義、カリキュラム構成や到達度、看護観の形成、学士課程教育の意義	●	●	●	●	●	●	●	・学生	・看護学科カリキュラム部会	学生による学士課程教育全般の評価を教員間で共有し、カリキュラム全体の成果と教育課題を検討する資料として活用する。	●	●	●	●	●	●	●	●
13	実施中	教育評価調査	看護学総合実習教育評価	9 月	毎年	看護学総合実習履修 4 年次生	看護学総合実習の教育効果と課題	●	●	●	●	●	●	●	・看護学総合実習の各領域責任者	・看護学科科目運営部会看護学総合実習班	調査結果を冊子にまとめ、教員間で共有するとともに、次年度の看護学総合実習の指導に活かす。	●	●	●	●	●	●		●
14	実施中	教育評価調査	看護研究教育評価	11 月～12 月	毎年	看護研究履修 4 年次生	看護研究の教育効果と課題	●	●	●	●	●	●	●	・研究指導教員	・看護学科科目運営部会看護研究班	調査結果を冊子にまとめ、教員間で共有するとともに、次年度の看護研究の指導に活かす。	●	●	●	●	●	●		●
15	実施中	カリキュラム評価報告書	Course Evaluation	3 月～5 月	毎年	全学年	看護学科教員が科目責任者である各授業科目の実施状況と評価	●	●	●	●	●	●	●	・科目責任者（看護学科教員のみ）	・看護学科カリキュラム部会	看護学科 Course Evaluation（冊子体）としてまとめ、看護学科ホームページ上で学内限定公開する。教員間で共有し、カリキュラム全体の評価と各授業科目の設計・運営に活かす。		●	●	●	●	●		●